



清水けんいち 市政レポート

政策討議資料
第42号
2018年10月

【ご挨拶】

皆様の、日頃からのご支援ご協力に、心より感謝申し上げます。議員活動を市民皆様に御報告する事で、少しでも開かれた政治にしていきたい。皆様と力を合わせて「住みやすく・暮らしやすく・子育てしやすい街」深谷を実現していきたい！そうした思いで、「市政レポート」を発行して参ります。

この市政レポートは私の分身です。毎号ファイルに綴って読んでもらっている子は幸せ者で、そのままポイされている子は涙を流しているかもしれません。

皆さんにお願いします。どうぞ、この子を可愛がってあげてください。

【議会報告】

深谷市議会 平成30年度 第3回定例会9月議会が終了しました。

主な議案

- ・平成29年度 一般会計歳入歳出決算認定(認定)
 - ・自転車の安全な利用の促進に関する条例の一部を改正する条例(可決)
 - ・一般会計補正予算(第2号)(可決)
- (他、市長提出議案17件、請願2件)

平成29年度 一般会計決算の概要

一般会計の収入済額は約513億9,009万円、一方、支出済額は約483億6,759万円、差引残額は約30億2,251万円、国民健康保険などの特別会計収入済額は約217億2,935万円、支出済額を差し引いた残額は約5億961万円、尚、実質収支額(準余剰金)は、一般会計及び特別会計合わせて約26億4,129万円で、翌年度に繰り越されました。

一般会計収入は、前年に比べ約2,580万円減少しましたが、ここ数年に比べて減少額が少なくなっております。これは、「ふるさと納税」による税収入や公有財産の売却などの効果であると考えます。

支出の方は、民生費が約207億4,530万円と全体の42.9%と最も多く、昨年度と比較しても0.8ポイント上昇しております。これは高齢化の進行などに伴い、扶助費が年々増加傾向にあることを示しております。



清水の私見

合併した特例として、有利な起債(約3割を返済すればよい借金)ができる期間が平成32年度までとされており、今後、国や県からの補助金も減額されると予想されます。一方、支出の方は少子高齢化に伴う社会保障費の増加に加え、老朽化の進む公共施設、上下水道等のインフラ整備・更新など、財政状況は厳しさを増して行きます。こうした財政状況の中、今後も複雑多様化する市民ニーズに応えるためにも、持続可能な行政サービスができるよう、歳入の増加と経費の削減を同時進行で進めて行かなければなりません。これからも、様々な視点から提言を続けて参ります。

アウトレットモール誘致の推進状況!

秩父鉄道の新駅「ふかや花園駅」が10月20日に開業しました。アウトレットのオープン予定は、平成32年度内とされていましたが、この度、農振除外の手続きが難航し、9ヶ月から最長で10ヶ月程度、遅れる見通しとなってしまいました。ただ、その他の手続きを同時進行で進めているため、先が見えたのも事実であり、そうした意味では良かったと思います。

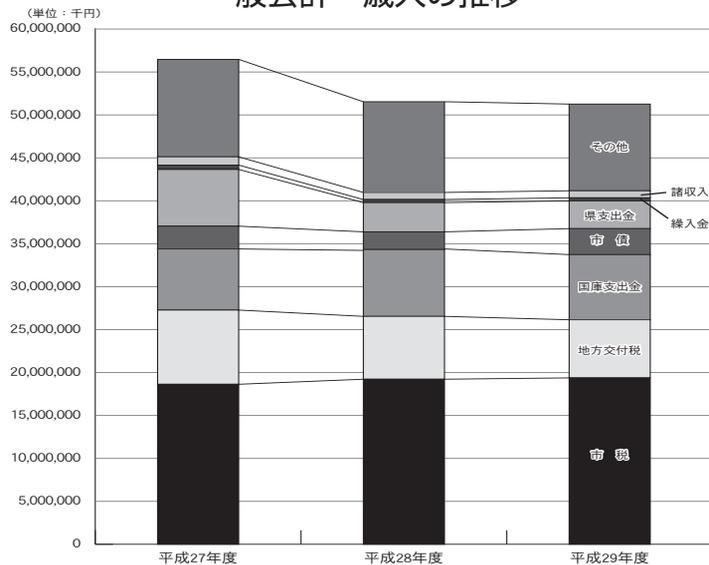
花園地区に新たに保育園が開園します

花園公民館隣にあります、旧保健センターの建物を利用して、(仮称)花園エンゼル第2保育園(以下、エンゼル保育園)が、来年4月の開園を目指して整備が進められることが決定しました。これは、待機児童対策の一環で、残念ですが、現在、待機児童が43名という状況となっており、今議会にも補正予算として、計上されましたが、エンゼル保育園の他、既存の私立保育園の施設整備費を市が補助金を支給して、受入れ児童数を増やします。これにより、来年度の待機児童はゼロとなる見込みです。



旧花園保健センター

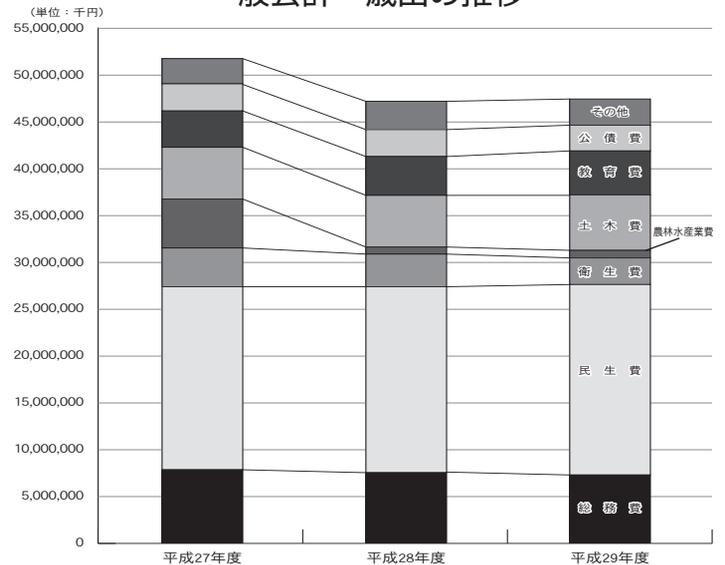
図1 一般会計 歳入の推移



款	平成27年度	構成比	平成28年度	構成比	平成29年度	構成比
市 税	18,599,188	33.0%	19,192,621	37.3%	19,404,811	37.8%
地方交付税	8,598,898	15.3%	7,312,674	14.2%	6,803,275	13.2%
国庫支出金	7,097,101	12.6%	7,767,806	15.1%	7,598,363	14.8%
市 債	2,650,500	4.7%	2,057,500	4.0%	3,011,400	5.9%
県支出金	6,598,137	11.7%	3,374,597	6.6%	3,252,470	6.3%
繰入金	485,374	0.9%	365,808	0.7%	345,298	0.7%
諸収入	975,822	1.7%	830,776	1.6%	814,913	1.6%
その他	11,330,780	20.1%	10,514,117	20.5%	10,159,568	19.7%
合計	56,335,800	100.0%	51,415,899	100.0%	51,390,098	100.0%

○構成比は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

図2 一般会計 歳出の推移



款	平成27年度	構成比	平成28年度	構成比	平成29年度	構成比
総務費	7,785,255	15.1%	7,511,361	15.9%	7,415,671	15.3%
民生費	19,552,621	37.8%	19,825,692	42.1%	20,745,301	42.9%
衛生費	4,109,204	8.0%	3,505,587	7.4%	2,906,433	6.0%
農林水産業費	5,227,987	10.1%	755,180	1.6%	825,938	1.7%
土木費	5,541,188	10.7%	5,533,298	11.7%	6,066,063	12.5%
教育費	3,891,570	7.5%	4,125,477	8.8%	4,777,738	9.9%
公債費	2,885,821	5.6%	2,865,612	6.1%	2,788,277	5.8%
その他	2,708,116	5.2%	3,023,052	6.4%	2,842,166	5.9%
合計	51,701,762	100.0%	47,145,259	100.0%	48,367,587	100.0%

○構成比は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

9月20日 清水健一の 一般質問と答弁(要約)



「順理即裕」(じゅんりそくゆう)
理に従えば、
即ち裕(ゆたか)なり

創設137年を向かえた、現・東洋紡(株)の経営理念に掲げられている、朱子学者・程頤(ていい)の言葉で、「道理に生きることが、すなわち繁栄につながる」という教えです。東洋紡の創設に多大な貢献をした、郷土の偉人・渋澤栄一翁が座右の銘としていた言葉で、その扁額が、今も尚、東洋紡の社長室に飾られています。

私も常に、道理を第一に考え、活動して参ります。

議席番号15番・清水健一、発言通告書に基づき質問を行ないます。

質問1 “道路照明灯、LED化の効果について”

毎年9月に行われます「決算審査」の時に、高額で気になっていました「道路照明灯電気料金」ですが、今までも度々「LED化」の提案をして来ましたが、平成29年にLED道路照明灯リース事業が開始されました。そこで質問します。

道路照明灯LEDリース化による経費の削減効果と将来予測について伺います。

答弁 削減金額は年間、約2千万円でリース契約が10年であることから、10年で約2億円の削減効果となります。

再質問 リース契約が10年との事ですが、契約終了後は、どのような定めがあるのか聞かせて下さい。

再答弁 リース契約終了後は、市に全て無償譲渡されることになっています。

質問2 “新深谷市史編纂について”

深谷市史は昭和44年に発刊され、49年が経過しております。そして、昭和48年に合併した豊里地区を中心に、昭和55年に追補版が発刊されてから、38年が過ぎております。1市3町が合併し10年が経過しましたが、正しい歴史を後世に残す観点から、新深谷市史編纂に着手するべきと思いますが、市の考えを伺います。

答弁 市史編纂には、様々な課題があると捉えておりますが、まず、市史編纂の意義、役割、必要性について、全庁的に議論を深め、意識の共有を図ると共に、まずは議論をスタートして参ります。



市史編纂

質問3 “上下水道事業の安定経営について”

特に水道事業は、全国的に見ましても、人口変動や節水機器の普及などにより、家庭での使用水量が減少し、有収水量は2000年をピークに減少し、2065年には、ピーク時の4割が減少すると予測されております。また、水道事業は、原則として水道料金で運営されておりますが、人口減少に伴い、料金収入も減少し経営状況が厳しさを増しております。そうした中、国では今年の第196回

の国会で「水道法改正案」を審議し、衆議院では可決しましたが、参議院では時間切れとなり、秋の臨時国会で再審議されることになっております。そこで質問します。市では水道課と下水道課、農業集落排水課を組織再編しましたが、その効果と課題について聞かせて下さい。

答弁 平成27年に、水道事業の営業課及び水道工務課と下水道事業の下水道課及び集落排水課を、管理部門を企業経営化に集約し、工事部門を水道工務課と下水道工務課とし、4課9係から3課7係とし、人件費が年間約4千万円削減できました。今後は民間に委託できる事業を検討し、更に経費削減できるよう努めて参ります。

再質問 先進市では、深谷市と同じように組織再編を行い、委託していた7事業から21事業に増やし包括業務委託にして、年間約3千万円の経費が削減された事例があります。その他、8年以内に交換が義務付けされている、各家庭のメーター器の砲金部の付着物を取り除く作業を障がい者授産施設に委託する事で、障がい者雇用にも役立っていますが、そうした取り組みも行っていくのか聞かせて下さい。

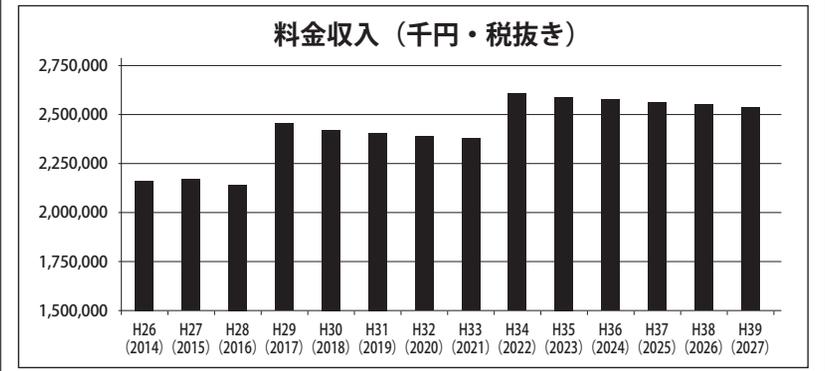
再答弁 清水議員、ご提言の包括業務委託や障がい者雇用政策に関しましても、検討して参ります。

水道料金収入の見通し

次のグラフは、平成26(2014)年度から平成28(2016)年度にかけての料金収入の実績値と平成29(2017)年度から平成39(2027)年度までの予測値を表したものです。

10年間を通して料金収入が減少していくと考えられます。料金収入の予測値は、深谷市人口ビジョンの人口シミュレーション及び国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口を勘案して算出しました。

なお、平成29年度に料金収入が増加している理由は、当該年度に料金改定を行ったためです。また、平成34(2022)年度に料金収入が増加している理由は、当該年度に料金改定を行うことを予定しているためです。



昨年、平成29年に水道料金の改定(値上げ)を行い、再度、平成34年度に値上げをする予定となっておりますが、何とか値上げせずに、或いは値上げ幅を少なくする努力が必要です。

知恵を絞り、汗を流し、引き続き良い方策を提言して参ります。

【質問を終えて】

道路照明灯のLEDリース化事業は、今後10年間で約2億円の経費を削減する事ができ、水道事業に関しましても道半ばですが、今後10年間で約6億円から10億円程度の削減が可能と考えております。その他、まだまだ、削減できる無駄はあると思われまので、調査研究を重ねて提言させていただきます。削減できたお金を市民皆様の必要とする事業に投入して行くことで、住みやすく・暮らしやすく・子育てしやすい街になって行くものと確信しております。これからも、頑張っ参りますので、ご支援ご協力の程、宜しくお願い致します。

清水健一連絡先

〒369-1246 深谷市小前田2406-8
TEL 048-584-0395

FAX 048-584-0396

ホームページ: <http://www.shimizu-kenichi.jp> (ブログ公開中)

E-mail: info@shimizu-kenichi.jp



プロフィール

昭和36年1月27日生まれ (57才)

家族構成 妻、長男、長男妻、長女、次女、孫2人 (8人家族)

- 埼玉県立熊谷工業高校 卒業
- 社団法人深谷青年会議所 第35代理事長
- 深谷市PTA連合会 会長
- 深谷市立花園小学校 PTA会長
- 深谷市立花園中学校 PTA会長
- 埼玉県立深谷高校 PTA会長
- ふかや市商工会 副会長
- 深谷市議会 副議長

このレポートは、今、問題になっている「政務活動費」を使わず清水個人の自費で発行しております。